



平成 30 年 8 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ  
 代表者名 代表取締役社長 前田 俊一  
 (コード番号: 6264 東証第二部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 藤山 敏久  
 (TEL. 0996-64-2900)

平成 30 年 7 月度 月次受注残高および

第二種医療機器製造販売業許可取得についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり平成 30 年 7 月度の月次受注残高を開示いたします。

併せて、平成 30 年 7 月 11 日付で鹿児島県より「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づき「第二種医療機器製造販売業」の許可を取得しましたのでお知らせします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

| 区分      | 受注残高  | 割合     | 対前月増減率 | 対前年同月増減率 |
|---------|-------|--------|--------|----------|
| 半導体分野   | 741   | 69.2%  | △8.6%  | 37.6%    |
| F P D分野 | 322   | 30.0%  | △6.6%  | 1.0%     |
| その他分野   | 7     | 0.7%   | △8.4%  | 26.0%    |
| 合計      | 1,071 | 100.0% | △8.0%  | 24.0%    |

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

| 区分      | H29.8月 | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | H30.1月 |
|---------|--------|-----|-----|-----|-----|--------|
| 半導体分野   | 551    | 567 | 552 | 655 | 646 | 730    |
| F P D分野 | 268    | 258 | 283 | 213 | 229 | 306    |
| その他分野   | 0      | 5   | 3   | 13  | 16  | 19     |
| 合計      | 820    | 831 | 839 | 882 | 892 | 1,056  |

| 区分      | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 半導体分野   | 774   | 788   | 814   | 785   | 811   | 741   |
| F P D分野 | 311   | 323   | 362   | 360   | 344   | 322   |
| その他分野   | 6     | 7     | 6     | 10    | 8     | 7     |
| 合計      | 1,092 | 1,119 | 1,183 | 1,156 | 1,165 | 1,071 |

### 3. 月次受注残高の概況

平成 30 年 7 月末の受注残高は、半導体分野においては、受注に停滞感が出るなかで、出水事業所の本格稼働もあり出荷検収は好調に推移したことから、対前月増減率は 8.6%減、対前年同月増減率では 37.6%増の 741 百万円となりました。FPD 分野においても、液晶 10.5 世代向けの大型設備関連は順調ながら、中小型パネル向け受注が停滞したことから、対前月増減率は 6.6%減、対前年同月増減率では 1.0%増の 322 百万円となりました。その他分野においては、おもだった動きはありませんでした。これらの結果、平成 30 年 7 月末の受注残高は、対前月増減率 8.0%減、対前年同月増減率 24.0%増の 1,071 百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野では、メモリ向け投資に若干の先送りやロジック系設備投資の停滞継続が観測されるなかで当社顧客の需要動向にも停滞感が続いております。そのようななかでも当社は、以前から試作品対応の強化と消耗品の受注に注力していることもあり、受注については同業他社に比べて比較的堅調に推移する見通しです。しかしながら、出水事業所の本格稼働に伴う生産力拡大もあり、受注残については、メモリ投資の再拡大まで多少の期間停滞傾向が続く可能性があります。なお、新規受注につながる試作品は多い状況であり、出水事業所の生産力と高尾野事業所の試作能力を活用し受注拡大を図ってまいります。FPD 分野およびその他分野では、中小型パネル向け設備投資に延期の動きがでておりますが、中国向けの大型パネル投資については拡大が続いております。そのようななか、当社は大型パネル向けと太陽電池向けに受注品種を転換していく方針ですが、受注の切り替わりまで数ヶ月間の受注残については増減を繰り返す見通しを持っております。

### 4. 第二種医療機器製造販売業許可の取得

当社は、平成 28 年 8 月期から平成 30 年 8 月期までの 3 ヶ年の中期事業計画として策定した「Evolution2018」において、成長ドライバーとして中長期的に育成・強化していく新規分野の一つに、作業補助・介護ロボットを掲げております。

鹿児島大学との共同研究によるリハビリ装置は、現在、実患者への実証試験を行う段階まで開発が進行しておりますが、今後、医療機器として製造販売を行ううえで、第二種医療機器製造販売業許可および医療機器製造業登録が必要となります。

今後、この医療分野において、先端技術を持つ医療機器の供給を通じて、病の人々の健康と身体の回復の手助けをすることで、社会に貢献してまいります。

当社が取得しました第二種医療機器製造販売業<sup>※1</sup>と、併せて登録しました医療機器製造業<sup>※2</sup>の詳細は、以下のとおりです。

|                     |  |
|---------------------|--|
| 第二種医療機器製造販売業許可番号    | 46B2X10003                                 |
| 主たる機能を有する<br>事務所の名称 | 株式会社マルマエ<br>(所在地：鹿児島県出水市高尾野町大久保 3816 番 41) |

#### ※1 第二種医療機器製造販売業

医療機器を業として製造販売を行う上で取得が必要な許可であり、市場への責任を持つ者。(参照：「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」第 23 条の 2 第 1 項) 第二種の業許可取得により、一般医療機器（ピンセット、救急絆創膏など）および管理医療機器（心電図モニター、補聴器など）を扱うことが可能となります。

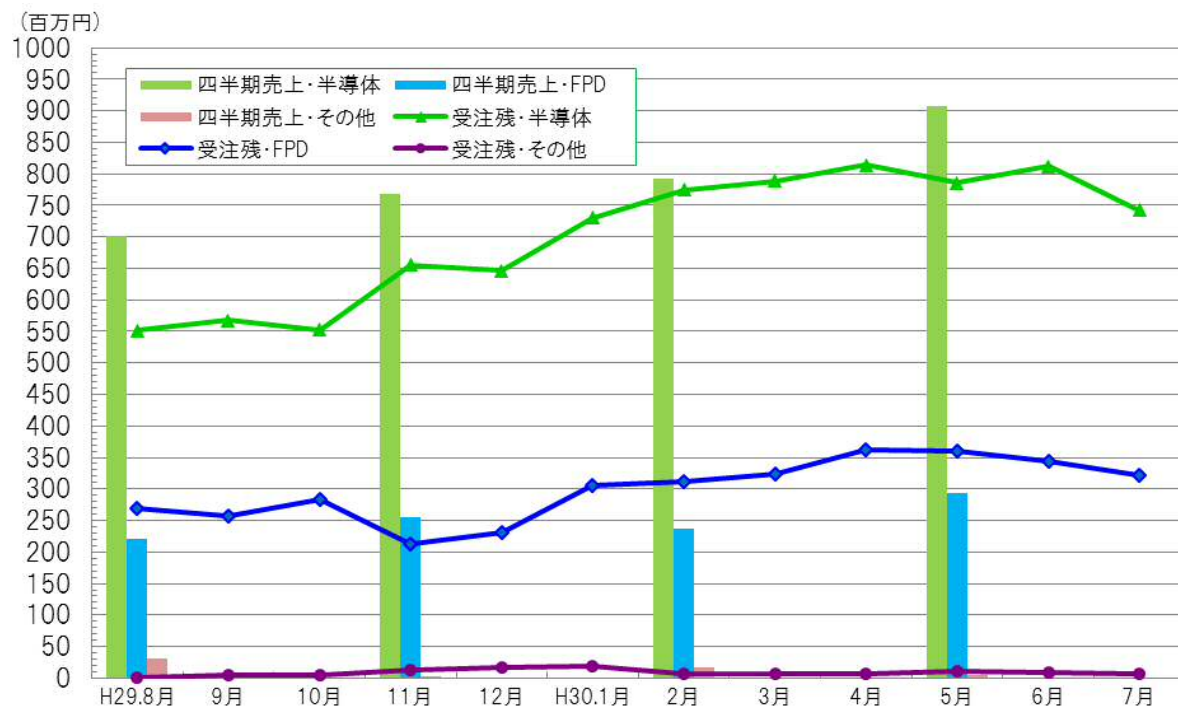
|             |  |
|-------------|--|
| 医療機器製造業登録番号 | 46BZ200008                                 |
| 製造所の名称      | 株式会社マルマエ 出水事業所<br>(所在地：鹿児島県出水市大野原 2141 番地) |

#### ※2 医療機器製造業

医療機器製造販売業者の委託を受け、製品の製造を行う者。(参照：「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」第 23 条の 2 の 3 第 1 項) 医療機器製造業は、製造所ごとに登録を受ける必要があります。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
- 注 2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。